

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月15日

さいたま市長 清水 勇人 様

提出者

住 所 さいたま市桜区大字宿618

氏 名 埼玉県大久保浄水場

場 長 長嶺 俊広

電話番号 048-852-8841

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	埼玉県大久保浄水場
事業場の所在地	さいたま市桜区大字宿618
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	水道業
②事業の規模	送水流量 301,738,342m <sup>3</sup> (令和4年度 実績)
③従業員数	96人 (令和5年4月1日 現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・汚泥(浄水発生土)→脱水→焼成(委託)→セメント原料等として再資源化</li><li>・廃油→焼却(委託)→最終処分</li><li>・廃プラスチック類→焼却(委託)→最終処分</li><li>・がれき類→破碎(委託)→最終処分</li></ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙「廃棄物処理に関する管理組織」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 水処理用の凝集剤の注入量が過剰にならないよう監視するとともに濃縮槽の汚泥濃度監視を行い、排出汚泥量の減量に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも凝集剤注入量監視と汚泥の濃度管理を行い、排出の抑制を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥に関しては、汚泥のみ扱うプラントにて減量後、他の廃棄物の混入が無いよう保管している。 その他廃棄物については、分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も汚泥に関しては、他の廃棄物の混入がないよう管理し、分別を徹底する。 その他廃棄物についても、分別を徹底する。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥は園芸用土等として再利用できるよう無薬品注入で脱水処理を行い、有効利用を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 汚泥の園芸用土やグラウンド用土への有効利用を促進する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 発生汚泥に適正な処理（脱水、乾燥）を行うことで、汚泥の減量を図った。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 汚泥については、引き続き適正な処理を実施する。			

## (第4面)

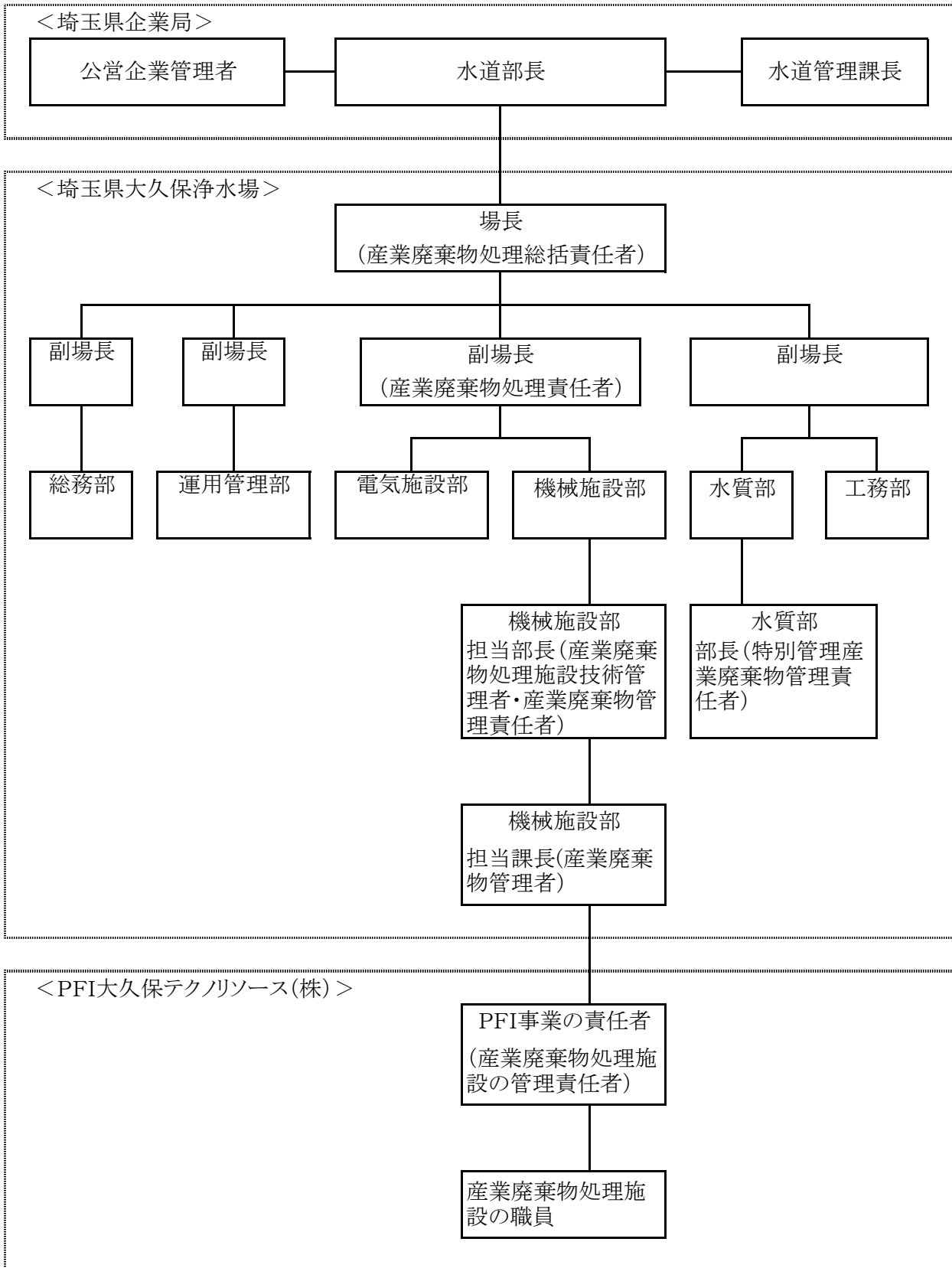
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥については、他事業者と情報交換を行うなどして再生利用業者を探した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>汚泥については、国の動向を注視しつつ、他事業体と情報交換を行いながら処理委託先を探し、再生利用に努めていきたい。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙「廃棄物処理に関する管理組織」



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度(令和4年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	排出量(t)	174,875.8	0.043	0.030	9.718	7.595	0.0	174,893.186
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	排出量(t)	174,875.8	0.1	0.1	9.7	7.5	0.0	174,893.2
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度(令和4年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)	16,817.32	0	0	0	0	0	16,817.32
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(t)	16,817.3	0	0	0	0	0	16,817.3
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度(令和4年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)	158,645.8	0	0	0	0	0	158,645.8
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(t)	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(t)	158,645.8	0	0	0	0	0	158,645.8
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度(令和4年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)	0	0	0	0	0	0	0
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(t)	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度(令和4年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	全処理委託量(t)	7,859.31	0.043	0.030	9.718	7.595	0.000	7,876.696
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	4,241.87	0.043	0.030	9.718	7.595	0.000	4,259.256
	再生利用業者への処理委託量(t)	7,859.31	0	0	0	0	0	7,859.31
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	がれき類	合計
	全処理委託量(t)	7,859.3	0.1	0.1	9.7	7.5	0.0	7,876.7
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	4,241.8	0.1	0.1	9.7	7.5	0.0	4,259.2
	再生利用業者への処理委託量(t)	7,859.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,859.3
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	